

令和3年7月4日から12日にかけての梅雨前線による大雨について (岡山県の気象速報)

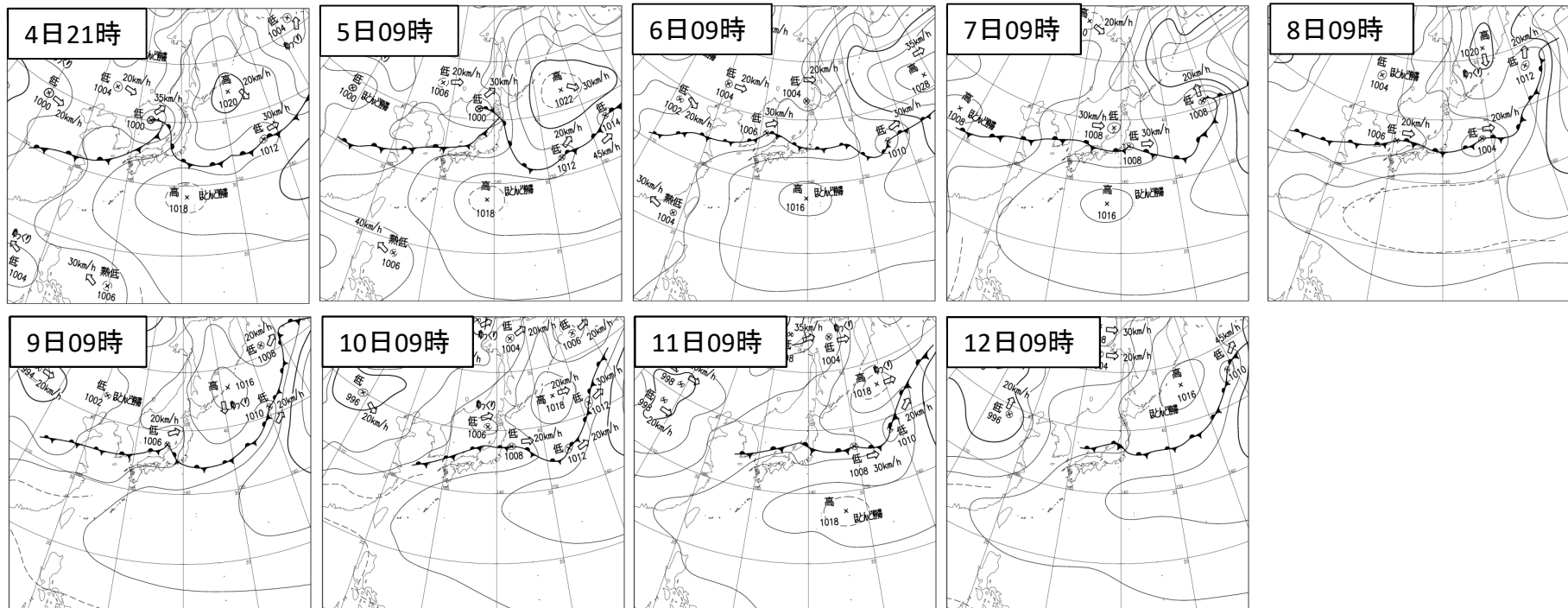
この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

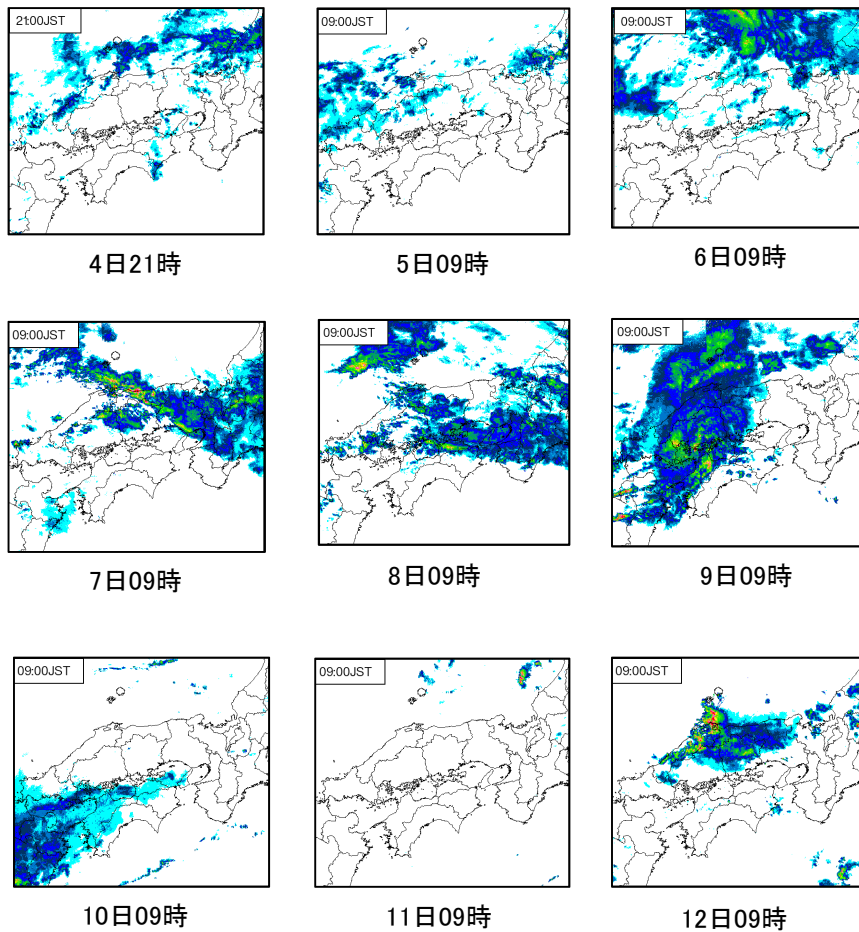
7月4日から7月12日にかけて、梅雨前線が日本海に停滞し、中国地方には暖かく湿った空気が流れ込んだため、岡山県では大気の状態が非常に不安定となり、岡山県内各地で大雨となりました。4日23時から12日19時までの総降水量は多いところで、美作市今岡で279.5ミリ、奈義で239.0ミリ、真庭市上長田で229.5ミリとなりました。岡山県と岡山地方气象台は、土砂災害の危険度が高まった笠岡市、高梁市、新見市、津山市、鏡野町、美作市、奈義町、西粟倉村に土砂災害警戒情報を発表し、土砂災害への警戒を呼びかけました。

この大雨により、笠岡市、津山市、鏡野町、美作市、奈義町、西粟倉村に避難指示が発令されました。(13日14時00分岡山県調べ)

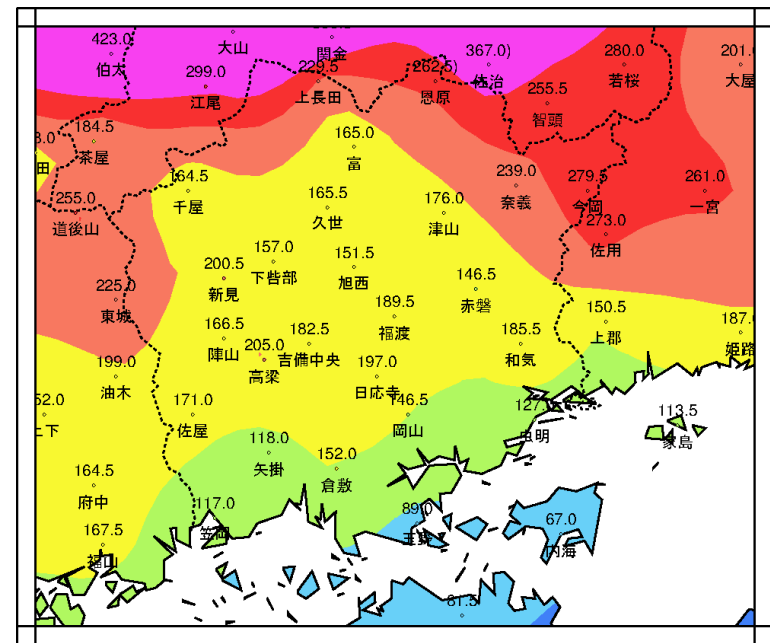
○天気図(令和3年7月4日21時～12日09時)



レーダー画像(7月4日21時~12日09時)



アメダス期間降水量(7月4日23時~12日19時)



)は期間内に許容範囲内の欠測があることを示す(準正常値)